

～釜山の地域通貨「トンベクチョン」～

下関市総合政策部国際課
(釜山広域市派遣職員)
渡邊 繁

アンニョンハセヨ！下関市釜山市派遣職員の渡邊です。早いもので私が釜山に赴任して半年が過ぎました。今回も私が感じた釜山市の魅力を皆さんに紹介していきます。

ご存じですか？日本ではここ数年急速にキャッシュレス化が進んでいますが、韓国は日本よりもキャッシュレス化が更に進んでいます。韓国は、クレジットカード決済やモバイル決済など現金を使わない世界でも有数のキャッシュレス社会であり、その韓国で近年導入が進んでいるのがデジタル地域通貨なのです。

今号では、釜山市が 2019 年 12 月に導入したデジタル地域通貨「トンベクチョン」について紹介します。

トンベクチョンとは、釜山市内で使用できるデジタル地域通貨で、「トンベク」とは韓国語で釜山市の花である「ツバキ」、「チョン」は「銭」という意味です。トンベクチョンは、クレジットカード決済システムを利用したプリペイドカードで、百貨店や大型マートなどを除く釜山市内の約 19 万の加盟店で使用でき、使用限度額と還元率は月毎に 6～10%のキャッシュバックを受けることができるシステムです。2020 年では約 1 兆 2000 億万ウォン（約 1,200 億円）のトンベクチョンの利用が記録されています。

トンベクチョンを使うには、まず専用のプリペイドカードの発行を申し込み、届いたカードと銀行口座を連携させ、専用機を使ってカードに使用する額をチャージし、支払い時に提示します。韓国人だけでなく、韓国内に銀行口座があれば外国人も使用でき、現在、加入者は約 90 万人に達しています。

新型コロナウイルスで地域経済が厳しい状況の中、トンベクチョンは釜山の地場消費の起爆剤として一躍を担っています。2021 年 7 月現在の一人当たりの使用限度額は 50 万ウォンで、還元率が 10%に設定されていますので、トンベクチョンで月 50 万ウォンの買い物をすると、5 万ウォン（約 5,000 円）のキャッシュバックが受け取れるという計算になります。

さらに、トンベクチョンは、使用した一部の金額で、なんと所得控除も受けることができるのです。また、釜山市の調査で加盟店での不正取引がゼロ件であったことも、トンベクチョンの人気が高い一因となっています。

韓国では、釜山市のトンベクチョンだけでなく、済州島や仁川市など多くの自治体において、デジタル地域通貨の導入が進んでいます。地域通貨は、地域の消費を促し、地域内でお金を循環させる事を基本としており、地域住民、事業者、自治体が積極的に参加することで成立する仕組みです。キャッシュバックの原資となる事業費は自治体と国が負担しています。

日本ではあまりなじみのないデジタル地域通貨ですが、今後、キャッシュレス社会に対応した地域経済活性化の一つとして、脚光を浴びる日が来るかもしれません。今、デジタル地域通貨がアツイッ！！



「トンベクチョン」カード



「トンベクチョン」加盟店表示